

平成 28 年 度

所 報



栃木県総合教育センター

目 次

1	運営の基本方針・センターの概要	1
	(1) 運営の基本方針.....	1
	(2) センターの概要.....	1
2	予算概要	2
3	事業	3
	(1) 研修事業.....	3
	(2) 学習機会提供.....	13
	(3) 学習相談・情報提供.....	14
	(4) 調査研究事業.....	16
	(5) 教育相談事業.....	18
	(6) 幼児教育推進事業.....	20
	(7) 資料・情報の収集提供事業.....	22
	(8) 研究・学習活動支援事業.....	23
	(9) 教育充実振興事業.....	26
	(10) 内地留学生研修実施状況.....	28
	(11) 加盟機関としての事業活動.....	29
4	職員等一覧	30
5	施設の利用状況	31
6	講師一覧	32

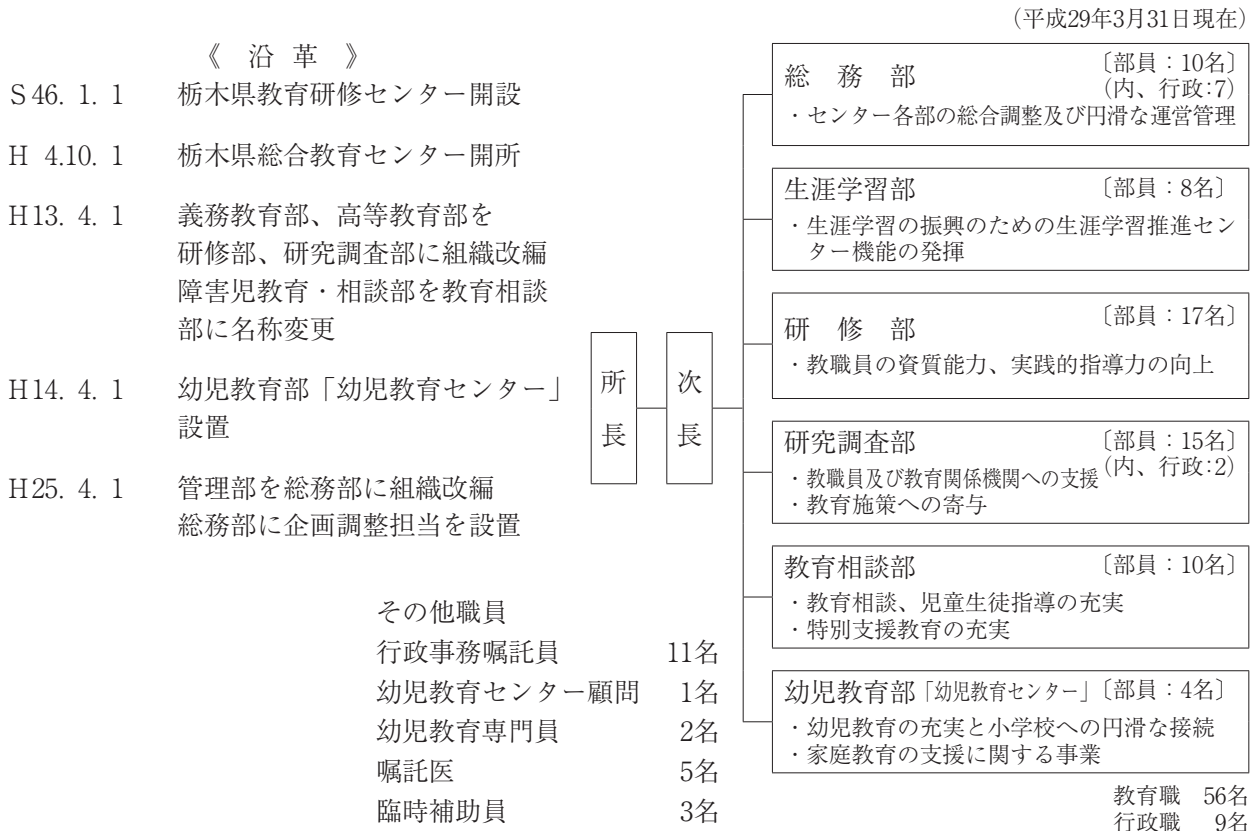
1 運営の基本方針・センターの概要

(1) 運営の基本方針

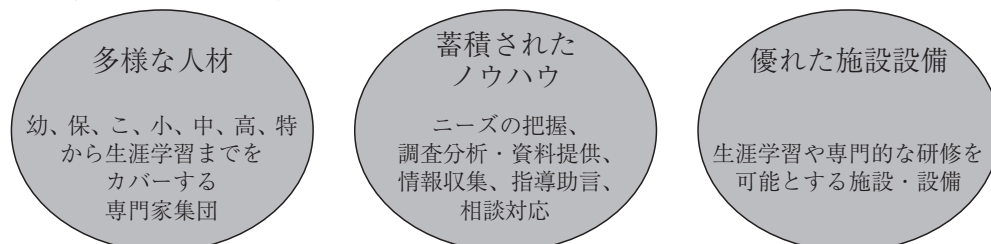
教職員研修、教育に関する調査研究、教育相談及び幼児教育の充実並びに県民の生涯学習活動への支援を推進し、もって学校教育及び生涯学習の振興に資する。

(2) センターの概要

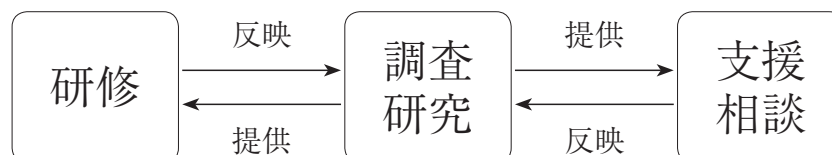
ア 組織と目的



イ 総合教育センターの特長



- ・本庁と現場、双方の現状把握が可能な立場を生かした事業展開
- ・研修の一元化によるリソースの有効活用
- ・所内の有機的、円滑な連携により、多角的検討、スピーディな対応、多面的な展開



2 予算概要

(単位：千円)

事業名	平成27年度 予算額 A	平成28年度 予算額 B	対前年比 $B \div A \times 100$	備考
総合教育センター運営費	122,589	124,194	101.3%	
総合教育センター事業費	15,391	14,461	94.0%	
初任者研修事業費	6,498	6,273	96.5%	
教職員研修費	4,057	3,869	95.4%	
調査研究費	2,706	2,355	87.0%	
教育相談事業費	387	337	87.1%	
教育充実振興費	1,743	1,627	93.3%	
教育調査統計費	1,460	1,103	75.5%	
事務局運営（営繕）費	0	0	0.0%	
総務課計	139,440	139,758	100.2%	(事務局運営(営繕)費除く)
幼児教育センター事業費	2,198	2,200	100.1%	
学校教育課計	2,198	2,200	100.1%	
指導者研修費	637	637	100.0%	
総合教育センター生涯学習研修費	637	637	100.0%	
生涯学習振興事業費	18,475	15,887	86.0%	
生涯学習推進事業費	101	88	87.1%	
家庭教育支援事業費	14,738	13,712	93.0%	
生涯学習ボランティア活動促進事業費	263	229	87.1%	
新とちぎ学びかがやきプラン推進事業費	225	0	0.0%	
とちぎの子どもの未来創造大学推進事業費	3,148	1,858	59.0%	
生涯学習情報提供システム整備事業費	1,474	1,285	87.2%	
生涯学習情報提供システム運営費	1,474	1,285	87.2%	
地域教育総合推進事業費	935	1,207	129.1%	
地域教育総合推進事業	701	1,003	143.1%	
放課後子ども教室推進事業費	234	204	87.2%	
生涯学習課計	21,521	19,016	88.4%	
環境学習・環境保全活動推進費	124	125	100.8%	地球温暖化対策課
合計	163,283	161,099	98.7%	
総合計	163,283	161,099	98.7%	(事務局運営(営繕)費含む)

3 事 業

(1) 研修事業

ア 教員関係職員研修

基本研修

番号	事 業 名	研 修 内 容	日数	計 画		実 績	
				人員	延人員	人員	延人員
1	初 任 者 研 修 (小 ・ 中 学 校)	・教職員への期待 ・教職員の服務 ・児童・生徒指導の在り方 ・学習指導、学習評価 ・学級経営 ・道徳教育 ・特別活動 ・課題研究 ・特別支援教育 ・総合的な学習の時間 ・福祉教育 ・社会福祉施設における研修	21	337	7,077	334	6,980
2	初 任 者 研 修 (高等学校・特別支援学校)	・教職員への期待 ・教職員の服務 ・児童・生徒指導 ・学習指導、教科指導法 ・教育の情報化 ・カウンセリングの基礎 ・人権教育 ・特別支援教育の理解・現状 ・特別活動の指導 ・障害の理解と教育 ・個別の指導計画 ・保護者との連携 ・教職員評価制度	21	103	2,163	100	2,069
3	新 規 採 用 養 護 教 諭 研 修	・教職員への期待 ・教職員の服務 ・児童・生徒指導 ・健康診断と事後措置 ・保健室経営について ・感染症の予防と対応 ・学校保健行政と養護教諭 ・学校における安全教育の充実 ・学校環境・衛生活動における諸検査 ・性に関する指導、薬物乱用防止教育 ・健康観察及び健康相談、健康指導について ・特別支援教育の理解 ・教育関係等	14	20	280	20	278
4	新 規 採 用 学 校 栄 養 職 員 研 修	・教職員への期待 ・教職員の服務 ・児童・生徒指導の在り方 ・人権教育 ・新規採用学校栄養職員に望むこと ・学校給食の役割 ・食に関する指導について ・調理従事者への衛生管理指導 ・児童生徒理解 ・課題研究 ・学校職員の服務と勤務 ・学校給食管理と給食業務 ・共同調理場の管理・運営 ・職場におけるよりよい人間関係を築くために	10	1	10	1	10

番号	事業名	研修内容	日数	計画		実績	
				人員	延人員	人員	延人員
5	新規採用事務職員研修 (小・中学校)	・教職員への期待 ・教職員の服務 ・児童・生徒指導の在り方 ・教職員の給与制度・給料・昇給・諸調査 ・給与・旅費の実務 ・接遇 ・学校事務における情報化への対応 ・学校職員の服務と勤務 ・職場におけるよりよい人間関係を築くために ・条例規則のしくみ	7	21	147	21	147
6	教職2年目研修 (小・中学校)	・児童生徒とのかかわり ・指導・支援の実際 ・教科指導の在り方	2	268	536	261	522
7	教職2～5年目研修 〔5年目〕 (小・中学校)	・5年目教員への期待 ・人権感覚を磨く教育活動の展開 ・望ましい学級経営の在り方 ・教科指導の在り方 ・望ましい道徳の時間の取組	3	223	669	212	636
8	教職2年目研修 (高等学校・特別支援学校)	・児童生徒とのかかわり ・指導・支援の実際 ・アクティブラーニングの視点を 取り入れた授業改善 ・教科指導の工夫と改善	2	95	190	95	190
9	教職2～5年目研修 〔5年目〕 (高等学校・特別支援学校)	・5年目教職員への期待 ・学級・ホームルーム経営の実際 ・教科指導の在り方 ・人権感覚を磨く教育活動の展開 ・自主研修の成果発表	3	85	255	85	255
10	養護教諭2年目研修	・養護教諭2年目を迎えて ・児童生徒とのかかわり ・災害給付状況を活用した学校事故防止	2	13	26	13	26
11	養護教諭2～5年目研修 〔5年目〕	・5年目教職員への期待 ・人権感覚を磨く教育活動の展開 ・学校における緊急時の対応 ・保健室経営の課題と対応	3	17	51	17	45
12	学校栄養職員2年目研修	・2年目学校栄養職員への期待 ・学校給食の栄養管理・衛生管理について	2	1	2	1	2
13	学校栄養職員 2～5年目研修 〔5年目〕	・5年目教職員への期待 ・5年目学校栄養職員に求められるもの ・人権感覚を磨く教育活動の展開	3	7	21	7	21
14	事務職員5年目研修	・5年目事務職員に求められるもの ・人権感覚を磨く教育活動の展開 ・職務遂行上の課題 ・教職員の服務 ・給与に関する実務 ・情報化への対応	3	32	96	28	84
15	教職10年目研修 (小・中学校)	・10年目教職員への期待 ・発達障害のある幼児児童生徒への支援 ・今、求められる学習指導の在り方 ・公開授業 ・人権を尊重した教育活動の展開 ・児童・生徒指導、学級経営 ・教員のためのメンタルヘルス	10	132	1,320	130	1,289

番号	事業名	研修内容	日数	計画		実績	
				人員	延人員	人員	延人員
16	教職10年目研修 (高等学校・特別支援学校)	・10年目教職員への期待 ・発達障害のある生徒への支援 ・教科指導の工夫・改善 ・学習指導の工夫・改善 ・公開授業 ・児童・生徒指導の意義とその在り方 ・児童・生徒指導、学級・ホームルーム経営に関するコース別研修	10	80	800	80	785
17	養護教諭10年目研修	・10年目教職員への期待 ・保健室経営の課題と対応 ・子どものこころを支える健康相談と連携の在り方 ・健康の保持増進と健康教育 ・保健指導・保健学習の進め方 ・児童生徒の注意すべき疾病異常の管理と指導 ・情報モラル	8	16	128	16	123
18	学校栄養職員10年目研修	・10年目教職員への期待 ・人権教育の推進 ・学校栄養職員の職務と課題 ・課題研究 ・食に関する年間指導に係わる年間指導計画の充実 ・学校栄養職員の授業への参画 ・衛生管理の実際 ・共同調理場の管理・運営	8	3	24	3	24
19	教職20年目研修 (小・中学校)	・20年目教職員への期待 ・学校における人権教育 ・本県の義務教育の現状と課題 ・教職員のメンタルヘルス ・学校組織マネジメント	4	144	576	144	538
20	教職20年目研修 (高等学校・特別支援学校)	・20年目教職員への期待 ・特別支援教育の推進 ・本県高校教育の課題と今後の方向性 ・本県特別支援教育の課題と今後の方向性 ・学校における人権教育	4	74	296	74	290
基本研修計				1,672	14,667	1,642	14,314

専門研修1ア

番号	事業名	研修内容	日数	計画		実績	
				人員	延人員	人員	延人員
1	新任免許教科担任研修 (中学校)	・各教科における指導の基礎・基本 ・評価の在り方	2	58	116	58	103
2	産業教育基礎技術研修	(農業科) ・農業科指導上の諸課題 ・各校の放射性物質対策 ・放射性物質に関する指導法 ・農業に関する指導法 ・肥料に関する指導法 (工業科) ・実習における安全指導の在り方 ・金属加工の指導法 ・電気工事の指導法 ・工業科教育の現状と課題	2	6	12	6	12
3	理科・基礎実験研修 (高等学校)	・物理分野の基礎的実験の指導法 ・化学分野の基礎的実験の指導法 ・生物分野の基礎的実験の指導法	3	8	24	8	24

番号	事業名	研修内容	日数	計画		実績	
				人員	延人員	人員	延人員
4	ネクストステージ研修	・これからの教職員に求められるもの ・本県の学校教育に求められるもの ・学校組織マネジメント ・栃木県教育振興基本計画2020－教育ビジョンとちぎ－	5	48	240	48	235
5	英語授業力向上研修	・新たな英語教育の推進に向けて ・学習到達目標と単元計画 ・英語教育推進リーダー中央研修受講者による研修内容の伝達	3	380	1,140	380	1,121
6	教室英語ディベート研修 (高)	・本県の高等学校における英語教育の課題 ・充実した言語活動の実践に向けて ・高度な言語活動を実践するための段階的な指導法	2	30	60	30	57
7	支援体制充実研修	・児童生徒支援の考え方 ・コーディネーションの考え方・進め方	2	170	340	170	338
8	教育相談充実研修 (高等学校)	・教育相談の現状と課題 ・カウンセリングマインド ・カウンセリング演習	2	69	138	68	132
9	特別支援学級等 新任教員研修	・特別支援学級・通級による指導における教育 ・高等特別支援学校について ・保護者理解について ・個別の指導計画の作成と活用 ・特別支援学級の学級経営 ・通級指導教室の教室経営 ・自閉症のある子どもの教育 ・知的障害のある子どもの教育 ・知的障害のある子どもの教科指導と授業づくり～ことば・文字の学習～	5	137	685	137	637
10	特別支援学級等 実践研修	・特別支援教育に関する施策、特別支援学級及び通級による指導の教育課程について ・高等特別支援学校について ・児童生徒のうまくいっているところに着目した指導～自立活動の指導を中心に～ ・各教科の指導の実際 ・「自立活動」の視点を明確にした指導の実際	4	66	264	66	251
11	特別支援学校 新任教員研修	・本県における特別支援教育の現状と課題 ・特別支援学校における教育	1×2	44	44	44	44
12	職業教育指導力向上研修	・本県における職業教育の推進 ・就労支援の実際 ・本校の職業教育の現状と課題	2	14	28	14	28
13	自立活動指導者研修	・自立活動の指導の基本 ・個別の指導計画に基づく指導と内容の取扱い ・自立活動の指導の実際	3	16	48	16	48
14	早期教育相談担当者研修	・早期からの教育支援体制について ・相談場面におけるかかわりの在り方 ・関係機関との連携の在り方	3	15	45	15	45
15	合同研修 〔幼小〕	・幼児期から児童期へのカリキュラムの接続～学びの芽生えから自覚化へ～	1	353	353	345	345
16	幼小連携推進者養成研修	・研修の概要について ・小学校第一学年授業参観 ・年長児保育参観	5	20	100	20	97
専門研修1ア 計				1,434	3,637	1,425	3,517

専門研修 1 イ

番号	事業名	研修内容	日数	計画		実績	
				実人員	延人員	実人員	延人員
1	校長研修 (小・中学校)	・教職員評価制度について ・本県の学習指導の現状と課題	1	525	525	525	512
2	校長研修 (高等学校・特別支援学校)	・教職員評価制度について ・高大接続システム改革の背景と今後の流れについて	1	75	75	75	74
3	新任校長研修 (小・中学校)	・新任校長への期待 ・人権教育と校長の役割 ・学校経営に関する諸課題 小・中学校における特別支援教育	2	110	220	110	220
4	新任校長研修 (高等学校・特別支援学校)	・新任校長への期待 ・人権教育と校長の役割 ・校長の使命と職務 ・学校経営に関する諸課題	2	24	48	24	48
5	教頭2年目研修 (小・中学校)	・教職員評価制度について ・教職員のメンタルヘルス ・学校経営と学校事務 ・コーチングを活用した人材育成	3	138	414	138	407
6	教頭2年目研修 (高等学校・特別支援学校)	・学校運営における危機管理推進のポイント ・学校評価を活用した組織の活性化 ・学校の財務 ・教職員のメンタルヘルス	3	23	69	23	69
7	新任教頭研修 (小・中学校)	・新任教頭への期待 ・教職員評価制度について ・人権教育の推進と教頭の役割 ・特別支援教育における教頭の役割 ・教頭に求められる資質・能力	4	155	620	155	611
8	新任教頭研修 (高等学校・特別支援学校)	・新任教頭への期待 ・学校における組織マネジメント ・人権教育の推進と教頭の役割	4	25	100	25	100
9	新任主幹教諭研修 (小・中学校)	・主幹教諭への期待 ・求められる主幹教諭像	1	18	18	18	18
10	新任主幹教諭研修 (高等学校・特別支援学校)	・主幹教諭への期待 ・学校組織マネジメント	1	17	17	17	17
11	新任教務主任研修 (小・中学校)	・教務主任の職務とその実際 ・教務主任としてのマネジメント	2	161	322	161	322
12	新任教務主任研修 (高等学校・特別支援学校)	・教務主任の職務 ・県立学校の諸課題 ・学校組織マネジメントの概要	2	30	60	30	60
13	新任部主事研修	・障害者福祉 ・本校における部経営	2	12	24	12	24
14	新任学習指導主任研修 (小・中学校)	・本県の学習指導の現状と課題 ・学習指導主任の職務と実際 ・教員の意識改革と学業指導	1	149	149	149	149
15	新任学習指導主任研修 (高等学校・特別支援学校)	・学習指導の現状と課題 ・学習指導の充実に向けて ・アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善	1	33	33	33	33

番号	事業名	研修内容	日数	計画		実績	
				実人員	延人員	実人員	延人員
16	新任児童指導主任研修 (小 学 校)	・児童・生徒指導の意義と職務 ・組織を生かしたミドルリーダーの連携	・児童指導主任の職務の実際 ・教員の意識改革と学業指導	1	72	72	72
17	新任生徒指導主事研修 (中 学 校)	・児童・生徒指導の意義と職務 ・組織を生かしたミドルリーダーの連携	・生徒指導主事の職務の実際 ・教員の意識改革と学業指導	1	36	36	36
18	新任生徒指導主事研修 (高等学校・特別支援学校)	・児童・生徒指導の意義と生徒指導主事の役割 ・生徒指導上の課題と取組	・不登校の理解と支援 ・ネットトラブルの予防と対策	1	26	26	26
19	新任進路指導主事研修 (中 学 校)	・進路指導の意義と職務の実際 ・進路指導主事の職務		1	38	38	38
20	新任進路指導主事研修 (高等学校・特別支援学校)	・キャリア教育の推進に向けて ・進路指導主事としての実践	・進路指導の実際と課題	1	23	23	19
21	新任栄養教諭研修	・栄養教諭の服務 ・栄養教諭の職務 ・学習指導 ・健康の保持増進と健康教育 ・本校の食に関する指導について	・栄養教諭による授業 ・児童生徒の理解と保護者との連携 ・課題研究	5	12	60	12
22	新任道徳教育推進 教師等研修	・道徳教育の充実と指導体制の確立に向けて ・道徳教育推進教師の職務と実際	・教育活動全体で取り組む道徳教育について	1	194	194	194
23	新任地域連携教員研修	・新任地域連携教員の役割と実際 ・教育課程と地域連携活動コーディネート機能の充実に向けて	・これからの学校と地域の連携・協働の姿 ・地域教員としてのマネジメント ・円滑な協働活動を進めるためのコミュニケーション	2	239	392	239
24	人権教育指導者専門研修	・人権教育の在り方 ・集会所における事業の推進と課題 ・人権教育の視点 ・現地研修	・参加体験型学習から学ぶ人権教育 ・人権が尊重された社会をつくるために	6	24	144	24
25	新任補佐級事務長研修 (小・中 学 校)	・学校管理運営上の諸問題と教育関係法規 ・事務職員のためのメンタルヘルス	・学校組織マネジメントを生かした学校経営の理解	1	16	16	16
26	新任係長級事務長研修 (小・中 学 校)	・学校管理運営上の諸問題と教育関係法規 ・本県の実情 ・事務長の役割と責任 ・学校管理運営上の課題 ・新任事務長への期待	・人権教育の推進 ・事務職員のためのメンタルヘルス ・学校組織マネジメントの理解と実践	2	17	34	17
27	新任係長級 学校栄養職員研修	・共同調理場の管理・運営 ・衛生管理の実際 ・学校給食を生きた教材とするために ・係長級学校栄養職員としての役割	・本校の食に関する指導 ・栄養教諭による授業	2	4	8	4
専門研修1イ 計				2,196	3,737	2,192	3,699

専門研修2

番号	事業名	研修内容	日数	計画		実績	
				人員	延人員	人員	延人員
1	学校図書館研修	・これからの学校図書館の在り方 ・学習活動を支える学校図書館	1	60	60	52	52
2	教科等専門研修	国語専門研修 外16講座	1×16 2×1	534	569	508	543
3	小学校理科観察実験研修 (初 級)	・火の扱い、危険防止について ・気体の発生について ・理科室経営について ・電気について ・生物の観察について ・星座の観察について 他	1	30	30	27	27
4	小学校理科観察実験研修 (中 級)	・おもりを使った実験 ・気体検知管の活用 ・理科室経営について ・プラネタリウムソフトの活用 ・電気について	1×2	60	60	37	37
5	産業教育専門研修	(農業科) ・エコ農業とちぎ ・持続可能な農業の指導法 ・「農業と環境」における指導の工夫 他 (工業科) ・電子回路設計・製作の指導法 (商業科) ・財務会計の指導法 ・原価計算の指導法 (家庭科) ・子育てを取り巻く現状と課題 ・認知症を学び、地域で支えよう 他	2	44	88	37	68
6	環境学習プログラム研修	・新しい環境教育の展開 ・実習「環境学習プログラム」	3	30	90	11	22
7	実習助手研修	・教職員への期待 ・教職員の服務 ・実習助手の職務 ・児童・生徒指導の在り方 ・人権教育の実践 ・各分野に分かれての講話・実習	2 (4)	50	112	58	125
8	I C T 活 用 研 修 〔エクセル入門〕	・エクセルの基礎と校務に生かす活用法	1	50	50	43	43
9	I C T 活 用 研 修 〔エクセルマクロ〕	・エクセルマクロの基礎 ・エクセルマクロの活用	2	30	60	71	136
10	I C T 活 用 研 修 〔パワーポイント入門〕	・パワーポイントの基礎 ・パワーポイントによる教材開発	1	30	30	33	33
11	I C T 活 用 研 修 〔動画編集〕	・動画編集の基礎と教材作成	1	30	30	33	33
12	校内研修ステップアップ講座	・校内研修の活性化に向けて～同僚性を高める授業研究の在り方～ ・効果的な授業研究会の在り方 ・校内研修改善の視点 ・校内研修の充実に向けた取組 ・効果的な校内研修に向けて ・授業参観、授業研究会	2	30	60	35	66
13	教育相談基礎研修	・学校における教育相談の役割 ・不登校の理解と対応 ・カウンセリング基礎演習 (1) (2) (3) ・非行の理解と対応 ・いじめの理解と対応 ・ネットいじめの理解と対応 ・発達障害の理解と対応 ・子どもの理解～心の発達の視点から～ ・事例研究	4	60	240	43	158
14	教育相談課題研修 〔いじめの理解と対応〕	・いじめの現状 ・いじめへの対応 ・いじめの理解と対応	1	60	60	40	38
15	教育相談課題研修 〔不登校の理解と対応〕	・不登校の理解と対応 ・事例研究会の進め方 ・事例研究 (1) (2) (3)	2	42	84	36	70
16	教育相談実践研修 〔保護者との連携〕	・保護者との連携の在り方 ・保護者との面談 (1) (2)	1	80	80	56	53
17	知的障害教育研修	・知的障害のある子どもの教科指導と授業づくり ～ことば・文字の学習～	1	200	200	143	140
18	自立活動研修	・人間関係の形成・コミュニケーションの指導	1	200	200	248	246

番号	事業名	研修内容	日数	計画		実績	
				人員	延人員	人員	延人員
19	通級による指導研修	・通級指導教室経営の実際 ・自立活動の指導の基本 ・こどもの言語習得 ・言語障害のある子どもの指導	2	40	80	33	63
20	発達障害のある子どもの教育支援研修	・通常の学級における特別支援教育の充実 ・小学校での支援の実際 ・高等学校での支援の実際	1	120	120	95	88
21	トップセミナー	・幼児教育における今日的課題を踏まえた今後の園経営の在り方	1	30	30	5	5
22	幼児期の特別支援教育研修	・子どもの側から見える景色とは ・幼稚園、保育所、こども園における特別支援教育	2	10	20	13	26
23	スキルアップセミナーⅠ	・専門性を高めるための記録の在り方	1	10	10	5	5
24	スキルアップセミナーⅡ	・要録の意義と役割	1	10	10	1	1
専門研修2 計				1,840	2,373	1,663	2,078

専門研修3

番号	事業名	研修内容	日数	計画		実績	
				実人員	延人員	実人員	延人員
1	とちぎの教育未来塾	「自己有用感を高めよう」外19講座	10	200	2,000	228	1,529
2	教職員サマーセミナー	「アクティブ・ラーニング入門」外10講座	1×11	452	452	490	490
3	環境学習プログラム体験セミナー	実習「環境学習プログラム」	1×2	10	10	2	2
4	教科自主研修 (高等学校・特別支援学校)	教科指導に関する課題	随時	-	-	-	-
専門研修3 計				662	2,462	720	2,021
教育関係職員研修合計				7,804	26,876	7,642	25,629

イ 生涯学習関係研修

番号	事業名	研修内容	対象	日数	計画		実績	
					実人員	延人員	実人員	延人員
1	女性の地域活動推進セミナー (女性教育指導者研修)	・地域づくりとボランティア活動 ・リーダーに求められるコミュニケーションスキル ・施設見学、グループ研究 等	〔推・公〕 県民	8	30	240	19	138
2	家庭教育オピニオン リーダー研修	・子どもたちの現状と家庭教育支援 ・カウンセリングマインドを生かした相談のあり方 ・フィールドワーク ・家庭教育支援事業の企画 等	〔推・公〕 県民	7	50	350	22	130
3	家庭教育支援プログラム 指導者研修	・親学習プログラムコース	県民	4	70	280	41	145
		・思春期版プログラムコース	県民	2	70	140	31	48
		・スキルアップコース	県民	4	70	280	61	89
4	ウィークエンド 青少年セミナー	・地域活動の事例発表 ・レクリエーション・工作遊び体験 ・ボランティア活動事業の企画・立案・準備・実践 等	社 青少年 大学生 高校生	5	30	150	43	165
5	放課後活動指導者研修	・放課後子どもプランの意義 ・指導に役立つスキルの取得 ・事例発表・研究協議・情報交換 等	社 教 県民	5	150	750	456	582
6	学校支援ボランティア 活動推進セミナー	・学校を核として地域ぐるみで子どもを育む ・よりよい人間関係を作るためのコミュニケーション 等	社 教 県民	2	80	160	91	102
7	地域教育コーディネーター 養成セミナー	・地域教育コーディネーターの取組の実際	社 研	1	200	200	137	137
8	生涯学習・社会教育 関係職員研修Ⅰ	・生涯学習推進における行政職員への期待 等	社	2	100	200	69	107
9	生涯学習・社会教育 関係職員研修Ⅱ	・学習プログラムの企画・立案 ・これからの社会教育行政のあり方 等	社	3	100	300	42	74
10	人権教育指導者 専門研修	・現地研修・情報交換 ・人権に関するワークショップ ・共に生きる社会づくり 等	社 教	6	50	300	52	276
11	16ミリ映写機 技術指導者研修	・16ミリ講習会の企画・運営 ・16ミリ映写機操作指導のポイント	社 視	隔年実施のため平成28年度は未実施				
生涯学習関係研修合計					1,000	3,350	1,064	1,993

※社：県・市町社会教育関係職員 県民：一般県民 教：教職員 視：視聴覚ライブラリー職員 〔推・公〕：要推及び公募

ウ 幼児教育関係研修

幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園・小学校の教職員を対象とした合同研修や幼小連携推進のための幼小連携推進者養成研修をはじめとして、幼稚園教育要領及び保育所保育指針等に基づく研修や今日的な課題に対応した研修及び情報提供を実施し、幼児期における教育・保育の充実を図った。
※幼：幼稚園、保：保育所、こ：幼保連携型認定こども園、小：小学校、特：特別支援学校

番号	事業名	研修内容	対象	日数	計画		実績	
					実人員	延人員	実人員	延人員
1	合同研修 〔幼小〕	・協議案提案 「幼児期から児童期へのカリキュラムの接続～学びの芽生えから自覚化へ～」 ・グループ協議 「ジョイントカリキュラムを作ろう」	幼・保・こ：年長担当 小学校：1年担任	1	600	600	539	539
2	幼小連携推進者 養成研修	・研修の概要について ・小学校第一学年授業参観 ・年長児保育参観 ・職場体験	幼・保・こ・小教職員	5	40	200	40	195
3	トップセミナー	・講話「学力向上を支える幼児教育と生活科・総合的な学習の時間」	幼・保・こ・小・特 園長、施設長、校長等	1	150	150	73	73
4	幼児期の特別支援 教育研修	・講話「子どもの側から見える景色とは」 ・講話「幼稚園等における特別支援教育」 ・講話「子どもの安心感を高めるかかわり手の在り方」 ・実践報告・協議	幼・保・こ・小・特 教職員	2	100	200	73	139
5	教育課程研究集会 〔幼児教育〕	・講話「協議主題の解説」 ・研究協議及び発表 ・実践研修 研究協議の成果を生かした保育実践等	幼・保・こ・小・特 教職員	3	80	240	55	159
6	スキルアップ セミナーⅠ	・明日の保育が変わる記録の在り方 ・講話「専門性を高めるための記録の在り方」 ・講話・演習「記録の取り方と生かし方」	幼・保・こ・小・特 教職員	1	100	100	62	62
7	スキルアップ セミナーⅡ	・発達と学びをつなぐ要録の作成と活用 ・講話「要録の意義と役割」 ・講話・演習「発達と学びをつなぐ要録の作成」	幼・保・こ・小・特 教職員	1	100	100	64	64
8	新規採用幼稚園 教諭研修	・保育者として ・幼児期の健康管理と安全管理 ・幼児期の教育の基本 ・保育の実践と省察 ・保育観察・保育研究 ・一人一人を大切にすること ・幼児理解 ・指導計画の作成～明日の保育を考える～ ・日案の作成	新規採用幼稚園教諭等	4	277	1,108	277	944
9	幼稚園教職 5年目研修	・教職5年目への期待 ・支え合う教員集団を目指して ・個と集団の育ちとは ・一人一人を大切にしたい集団づくりや学級経営 ・個と集団の育ちを支える保護者との関わり	教職経験5年目の教諭等	3	75	225	71	196
10	幼稚園教職 10年経験者研修	・10年目教職員への期待 ・発達障害のある幼児児童生徒への支援 ・本県の義務教育の現状と課題 ・本県の幼児教育の現状と課題 ・組織マネジメント ・学校力を高める園内研修の在り方 ・協同する経験とは ・幼稚園における特別支援教育 ・子ども・子育て支援新制度を踏まえた今後の子育て支援の在り方 ・保育観察・保育研究 ・課題研究の成果と課題 等	教職経験11年目の教諭等	6	37	222	37	204
11	小・中学校の教職20 年目研修に講座開講	・幼児期から児童期へのよりよい接続のための指導の在り方	教職20年目の教員	1	144	144	130	130
幼児教育関係研修合計					1,703	3,289	1,421	2,705

(2) 学習機会提供

ア とちぎ県民カレッジ

登録講座（実施機関・講座数）	105機関	1,592講座
（ア）受講者	111,348人	
（イ）機関内訳	県関係機関（69機関）	596講座
	各市町（19市町村）	348講座
	大学等（17大学等）	648講座
（ウ）コース別講座数（内訳）		
・健康・スポーツコース	164講座	・能力・自己開発コース 240講座
・文化・教養コース	1,079講座	・郷土理解コース 53講座
・地域活動コース	49講座	・アカデミアとちぎ 7講座
（エ）学習歴累積希望登録者	（2,524名）	
（オ）奨励証交付者	（400単位 1名、300単位 19名、200単位 39名、100単位 102名）	

イ 公開講座「ライフアップセミナー」

講座名	内 容	期日	演 題	参加人数	会 場
公開講座 「ライフアップ セミナー」	総合教育センターが主催 する研修の中から、県民 の学習活動として活用で きる部分を広く一般に公 開し、幅広い学習機会を 提供した。	6/1 ～ 2/17 16回	・子どもたちを取り巻く現代の課題 ・人権が尊重された社会をつくるた めに ・地域づくりとボランティア活動 ・これからの社会教育行政のあり方 ・地域の大人に期待される役割 等	100人	総合教育 センター

ウ 公開講座「学びの杜の公開講座」

講座名	内 容	期 日	対 象	参加人数	会 場
公開講座 「学びの杜の夏 休み」	県民の方々の多様な学びを支援する ため、センターの施設・設備を生か した講座を実施した。	7/30	県民	224人	総合教育 センター

エ 開放講座「学びの杜の冬休み～ふれる・つくる・考える～」

名 称	期日	対 象	内 容 等	参加人数
総合教育センター 開放事業 『学びの杜の冬休み ～ふれる・つくる・ 考える～』	12/17	子どもと親を はじめとする 県民	子どもの遊び（学習）活動の支援や、保護 者をはじめ大人の教育力の向上を目的とし て『ふれる、つくる、考える』の3つのジャ ンルの25の活動プログラムを実施した。	703人

オ 栃木県自作視聴覚教材コンクール

事 業 名	期 日	対 象	内 容 等	参加人数	会 場
第29回栃木県自作視聴 覚教材コンクール	予備審査 1/20 本審査 2/ 3 表彰式 2/24	一般県民	社会教育部門 9点 学校教育部門 1点	10人	総合教育 センター

(3) 学習相談・情報提供

ア 学習情報センター

- ① 栃木県学習情報提供システム（とちぎレインボーネット）
学習相談・情報提供システム

事業名	内 容 等	対 象	備 考
学 習 相 談 情 報 提 供	・県民のニーズにあった学習機会や指導者の紹介 ・面談・電話等による生涯学習相談 ・栃木県学習情報提供システム（とちぎレインボーネット）の運用及び活用 ・市町広報誌及び各種情報誌等の活用による情報提供 ・関係機関との連携 等	一般県民 生涯学習関係団体 生涯学習行政担当者 学校教育関係者等	http://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/information/

- ② アクセス件数

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
レインボーネットアクセス件数	1,357	1,309	1,572	1,410	1,295	1,217	728	623	513	669	664	894	12,251

- ③ 学習相談件数

番号	区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	学 習 機 会	43	40	40	32		38		33		34	34	2	296
2	施 設	2	1	2		5	3	4	1		2	3		23
3	団体・グループ													
4	指 導 者										1			1
5	教 材	6	13	31	18	21	20	24	30	13	13	13	12	214
6	各 種 資 格													
7	学習プログラム													
8	情 報 源	5	7	22	4	11	10	6	12		4	9	7	97
9	そ の 他													
		56	61	95	54	37	71	34	76	13	54	59	21	631

イ 生涯学習ボランティアセンター（体験活動ボランティア活動支援センター）

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相 談 件 数	64	28	330	24	23	23	39	28	62	8	20	16	665
登 録 件 数	個人 670件 団体 314件												

ウ 視聴覚ライブラリー

① 視聴覚教材教具の整備、貸出内容

事業名	内 容	対象・方法等
視聴覚教材教具の整備、貸出	DVD, VHS, 16ミリフィルム等, 視聴覚教材教具の整備・貸出	各学校、社会教育関係団体サークル、行政機関等

② 視聴覚教材教具貸出件数

番号	区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	D V D 等		5	5	31	9	16	13	12	26	19	6	4	7	153
2	教 具		1	1	2	3	0	4	4	3	2	3	3	5	31
			6	6	33	12	16	17	16	29	21	9	7	12	184

エ 図書資料室

① 図書資料等の提供状況

事業名	内 容	方 法
図書資料等の提供	教育・生涯学習に関する図書資料、教育資料、教育雑誌等の整備充実 レファレンス、貸出し	収集、整理、保管 及びその活用 相談・照会等に対する情報の提供

② 利用状況

番号	区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	来 室 者 数		223	311	370	418	497	264	308	234	212	210	177	231	3,455
2	資料貸出・レファレンス		111	132	175	160	139	125	192	128	102	117	120	102	1,603

オ カリキュラムセンター

① カリキュラムに関する支援

事業名	内 容	対 象
カリキュラムに関する支援	カリキュラムに関する情報の収集・整理、情報発信等を行い、県内の各学校及びその他の各教育機関、県内の各教育関係団体における教育活動の支援を行った。	県内の各学校及びその他の各教育機関、県内の各教育関係団体

② 利用者数

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利 用 者 数		34	21	47	21	3	10	18	1	12	26	1	37	231

③ アクセス件数

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
ホームページアクセス件数		13,403	18,874	20,402	13,210	15,098	13,863	14,747	14,266	9,810	12,807	9,917	6,823	163,220

(4) 調査研究事業

学校教育関係及び生涯学習関係各方面の要請や実情に基づき、学校教育の内容や方法等及び生涯学習の在り方や支援の方法等の改善充実を図るため、各種の調査研究を実施した。

ア 基本方針

- ・教育行政上の基礎資料となる調査及び調査研究を行う。
- ・当面する教育課題を的確に捉えて、指導に役立つ調査研究を行う。
- ・生涯学習推進の基礎資料となる調査研究を行う。
- ・幼児教育や家庭教育に係る今日的な課題について調査研究を行う。
- ・他の教育機関における調査研究活動との連携を図る。

イ 事業内容

	研究主題及び主管部	研 究 内 容	期 間
1	学習意欲に関する調査研究 (小・中・高) ～とちぎっ子学習状況調査 及び学習意欲調査の分析 (研究調査部)	学習意欲に関する調査研究を行い、学習意欲と学力との関係性等を明らかにし、学習意欲を育む手立て等について調査研究を行い、その成果をパンフレットにまとめ、関係学校等に配布した。	平成28年4月 新規
2	小学校外国語活動に関する 調査研究 ～外国語活動における指導 資料の作成 (研究調査部)	本県の小学校外国語活動の指導に関する学校の実態を把握し、外国語活動の授業においてコミュニケーション能力の素地を養うための指導の在り方について調査研究を行い、その成果をリーフレットにまとめ、小学校全教員に配布した。	平成28年4月 新規
3	高等学校における教科指導 充実に関する調査研究～各 教科における今日的課題解 決を図る指導の工夫【これ からの「思考力」の育成を 目指して】 (研究調査部)	数学科、外国語科(英語)、家庭科、農業科、工業科の5教科を対象とし、今日的課題を解決するための指導実践事例を冊子とパンフレットにまとめ、関係学校等に配布した。	継続
4	デジタル教材の開発と活用 ～授業実践に役立つデジ タル教材の収集、開発と活用 (研究調査部)	授業実践に役立つ教材や実践指導資料の収集及び開発を行い、総合教育センターのWebサイト「教材研究のひろば」からWeb発信した。	継続
5	校内研修の充実に関する調 査研究(小・中・高・特) ～校内研修の指導資料及び 実践事例集の作成 (研究調査部)	効果的な校内研修の進め方やそれに基づいた実践事例についての調査研究を行い、その成果を冊子にまとめ、関係学校等に配布した。	平成28年4月 新規
6	情報モラルの育成に関する 調査研究(小・中・高・特) ～ネットトラブルに関する 教材の作成 (研究調査部)	スマートフォン等の普及によって増加しているネット上のトラブル事例とその対処法に関する調査研究を行い、情報モラル育成に関する指導資料及びスライド資料を作成し、Web発信した。	継続

	研究主題及び主管部	研 究 内 容	期 間
7	教育に関する各種統計調査～教育行政基礎資料の提供 (研究調査部)	本県及び国の教育に係る各種統計調査（県単6、文部科学省3の計9）を実施し、教育行政、教育施策に関する基礎資料を作成・配布した。 ○県単調査 ①中学校等卒業者の進路状況調査 ②県立高等学校等卒業者の進路状況調査 ③全日制高等学校生徒の他県との交流調査 ④公立学校教員構成調査 ⑤新年度児童・生徒数、学級数見込み調査 ⑥中学校等生徒の進路希望調査 ○文部科学省調査 ⑦地方教育費調査 (教育費調査・生涯学習関連費調査：H27会計年度) ⑧子供の学習費調査（H28年度分） ⑨学校教員統計調査	継続
8	学校支援のためのコーディネーターに関する調査研究 (生涯学習部)	学校と地域の連携を推進する要となるコーディネーターについて、現時点での活動状況、成果、課題等の情報を収集・分析し、配置の在り方や支援体制等、今後の目指すべき方向性について提言を行った。	平成28年8月 ） 平成29年1月 新規
9	児童生徒支援に関する指導資料 (教育相談部)	いじめ、不登校、発達障害の二次的障害などの児童生徒が抱える課題への組織的対応を促進するため、より適切な指導につながるケース会議の進め方について、ポイントをまとめた指導資料（リーフレット）を作成し、各学校等に配布した。	平成28年4月 ） 平成29年3月 継続
10	知的障害特別支援学級における算数・数学科の指導の充実 (教育相談部)	知的障害のある児童生徒の学習上の特性を踏まえた算数・数学科の指導について、調査研究協力委員の実践を参考に、指導内容や教材例をまとめた。	平成28年4月 ） 平成30年3月 新規
11	特別支援学校（知的障害）における教科指導の充実～文部科学省著作教科書を活用した算数科（領域「数と計算」） (教育相談部)	文部科学省著作教科書を活用した算数科（領域「数と計算」）の指導について、調査研究協力校における実践を踏まえ、指導計画や指導例等をまとめた指導資料を作成し、関係学校等に配布した。	平成27年4月 ） 平成29年3月 継続
12	園内研修実践事例集～「自分たちでできる研修ガイド」を活用して～ (幼児教育部)	幼稚園等の教職員が、「自分たちでできる研修ガイド～専門性の高い教職員集団を目指して～」を活用しながら、カリキュラム・マネジメントを生かした園内研修を実施し、研修内容や成果をまとめた冊子を作成した。	平成28年4月 ） 平成29年3月 新規

(5) 教育相談事業

幼児児童生徒の健全な育成に資するため、障害や教育上の問題などの悩みをもつ幼児児童生徒及び保護者等に対して問題解決に向けた助言・援助を行った。

ア 来所相談

(ア) 教育相談実施回数（主訴別）

番号	主訴別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	家庭生活	(1) 5	(2) 10	(1) 13	(1) 13	10	11	(2) 14	(4) 20	(1) 13	13	(1) 19	20	(13) 161
2	集団生活	(1) 6	(3) 11	(4) 12	(5) 10	(1) 11	(4) 13	(7) 15	(3) 16	(1) 10	(2) 12	(2) 10	(1) 9	(34) 135
3	就学													
4	学習	(1) 1	(1) 1				(1) 1							(3) 3
5	進路					(1) 1								(1) 1
6	その他													
計		(3) 12	(6) 22	(5) 25	(6) 23	(2) 22	(5) 25	(9) 29	(7) 36	(2) 23	(2) 25	(3) 29	(1) 29	(51) 300
延べ来談者数		23	41	50	49	43	51	60	74	50	53	61	61	616

() 内は新規ケース数

(イ) 教育相談実施回数（状態別）

① 障害児の教育相談

番号	状態別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	視覚障害													
2	聴覚障害													
3	知的障害		1	1										2
4	肢体不自由	1		1		1								3
5	病弱													
6	言語障害	(1) 5	(2) 9	(1) 12	(1) 13	10	11	(2) 14	(2) 18	(1) 12	12	(1) 18	19	(11) 153
7	自閉症・情緒障害	2	2	1	1	2	2	(1) 2	(1) 4	2	2	1	2	(2) 23
8	重複障害													
9	その他	(1) 1	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	(1) 22
計		(2) 9	(2) 14	(1) 17	(1) 16	15	15	(3) 18	(3) 24	(1) 16	15	(1) 21	23	(14) 203
延べ来談者数		18	30	36	36	31	35	40	53	38	36	47	51	451

() 内は新規ケース数

② 一般教育相談

番号	状態別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	不登校		1	(3) 5	(2) 4	(3) 4	4	(2) 6	(4) 8	(3) 8	(1) 4	7	(2) 6	3	(20) 60
2	集団不適応		1	(1) 2	(1) 2	(2) 3	(1) 2	(1) 2	(2) 2		2	(1) 2	2	(1) 2	(10) 24
3	非行														
4	家庭内暴力														
5	無気力														
6	怠学														
7	性格	(1) 1	1	(1) 2				(1) 1	1	(1) 2	1	(1) 1		1	(5) 11
8	精神疾患・ 神経症														
9	緘黙・チック・ 夜尿														
10	情緒不安定														
11	学業問題					(1) 1	(1) 1								(2) 2
計			(1) 3	(4) 8	(4) 8	(5) 7	(2) 7	(5) 10	(6) 11	(4) 12	(1) 7	(2) 10	(2) 8	(1) 6	(37) 97
延べ来談者数			5	11	14	13	12	16	20	21	12	17	14	10	165

() 内は新規ケース数

イ 学校支援

事業名	内 容	対 象	実 施 回 数
学 校 支 援	学校や教育研究会等からの要請に応じて、児童生徒の学校生活の充実に向けた研修会や事例研究会等に指導主事を派遣し、助言・援助を行った。	各学校・教育研究会等	学校（小・中・高・特） 60 学校以外の教育団体等 23
			合計 83 回

(6) 幼児教育推進事業

幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園・小学校間の連携を図りながら、幼児期から児童期への円滑な接続と幼児期にふさわしい教育環境を目指し、次の基本方針に基づき各種の事業を実施した。

ア 基本方針

- (1) 幼小連携の推進
- (2) 研修
- (3) 情報の提供
- (4) 調査研究

イ 事業内容

(1) 幼小連携の推進

番号	事業名	内 容
1	幼小連携推進会議	「とちぎの幼児教育」の実施状況を報告し、今後の施策・事業の方向性に対する意見や、幼小連携の現状と課題について協議した内容を、次年度の取組に生かした。
2	幼小ジョイントプロジェクト	各市町単位で、幼稚園・保育所・こども園・小学校の教職員が、保育・授業参観、研究協議等を通して、「子ども観」「教育観」の相互理解を深め、教育・保育の充実を図る。 足利市で実施した。市内の1保育所、1小学校を指定し、保育・授業や交流活動を公開し、その参観を基に協議を重ねた。全5回の協議の視点を「安心感」という共通のものにし、保育所の持つ「子ども観」と小学校の持つ「子ども観」等を活発に意見交換し、接続期に大切にすべきことを共有化した。
3	幼小連携実施状況調査 (市町対象)	隔年実施（H28年実施なし）

(2) 研修

- ① 研修（P12参照）
- ② 園内研修等への支援

幼稚園・保育所等からの要請に応じ、指導主事や幼児教育専門員等を教育・保育アドバイザーとして派遣し、教育内容や教育課程に関すること、幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園・小学校の連携に関すること、家庭との連携に関すること等への講話、演習を行った。また、教職員等からの教育上の問題や悩みについての相談に応じ、課題の解決への援助を行った。

(ア) 保育・教育アドバイザー派遣件数

番号	派遣先	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	幼稚園	0	1	3	4	2	3	3	1	1	1	1	2	22
2	保育所	0	3	1	2	0	1	4	0	0	1	0	0	12
3	こども園	1	0	2	0	3	0	1	2	0	0	1	0	10
4	教育委員会その他	1	3	7	3	3	1	4	2	2	0	5	3	34
計		2	7	13	9	8	5	12	5	3	2	7	5	78

内容等：「発達に応じた子どもへの対応」、「教育課程の編成」、「幼小連携」、「組織マネジメント」、「子育てと親のかかわり」、「体づくり」、「幼児理解」、「就学に向けて」、「要録の記入と活用」、「計画訪問」、その他

(イ) 教育相談実施件数

番号	派遣先	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	来 所 相 談	1	4	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	11
2	電 話 相 談	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
計		1	4	1	0	0	0	0	0	1	6	0	0	13

内容等：その他

(3) 情報の提供

幼児教育に関する教材ビデオ等を整備し、研修等で活用することにより、教職員の指導力を高めるとともに、情報誌やホームページ等により、保護者や幼児教育関係者に情報を提供し、子育ての支援や幼児教育の理解促進を図った。

① 教材ビデオ等の活用・ホームページによる情報提供

区 分	内 容	備 考
ビ デ オ ラ イ ブ ラ リ ー	研修用ビデオの整備と活用	貸出4件12本 活用9件11本
幼 児 教 育 セ ン タ ー ホ ー ム ペ ー ジ	幼児教育センター事業案内、リーフレット、その他 URL http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/youji/	アクセス件数 3,803件

② 国公立幼稚園等代表者会議の開催

- ・ 期 日：平成28年6月2日
- ・ 参加者：国公立幼稚園等関係者 5園9名
- ・ 内 容：国及び県の幼児教育関係施策・指針の伝達、各園の情報交換等

③ 刊行活動

刊行活動	部数等	配布先	主な内容
幼児教育センター情報誌 「うち」	平成28年10月 70,000部	各幼稚園、保育所、こども園等を通じ、3歳から5歳の子をもつ保護者及び教職員、その他関係機関等	第29号： 「がまんできる子」
	平成29年2月 70,000部		第30号： 「想像力を育む」

(4) 調査研究

① 幼児教育に関する調査研究（再掲）

幼児教育や幼稚園・保育所・小学校の連携等に係る今日的課題について調査研究を行い、その成果を広く発信・提供し課題解決の一助とした。

② 家庭における幼児教育の実態調査

研 究 主 題	研 究 内 容	対 象	備 考
家庭における幼児教育の実態調査	テーマ： 「がまんできる子」について 「想像力を育む」について	幼稚園・保育所・こども園等に通う3歳から5歳の子を持つ保護者	調査：年2回実施 結果は幼児教育センターで発行する幼児教育センター情報誌にて情報提供

(7) 資料・情報の収集提供事業

教育関係職員の教育活動及び研修を進める上に必要な資料・情報を提供するため、機能の拡大に努めた。

アクセス件数

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
総合教育センターホームページ ア ク セ ス 件 数		11,783	10,590	13,138	12,630	13,533	10,321	9,491	10,697	7,363	11,772	8,342	7,140	126,800

ア 資料・情報の提供（再掲）

① 図書資料室

ア 利用状況

番号	区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	来 室 者		223	311	370	418	497	264	308	234	212	210	177	231	3,455
2	貸出・レファレンス		111	132	175	160	139	125	192	128	102	117	120	102	1,603

※ 当センター職員の利用も含む

② カリキュラムセンター

ア 利用者数

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利 用 者 数		34	21	47	21	3	10	18	1	12	26	1	37	231

イ アクセス件数

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
ホームページアクセス件数		13,403	18,874	20,402	13,210	15,098	13,863	14,747	14,266	9,810	12,807	9,917	6,823	163,220

③ 幼児教育センター

ア アクセス件数

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
幼児教育センターホームページ ア ク セ ス 件 数		298	269	367	338	301	454	306	361	263	323	323	200	3,803

イ 広報活動

刊行活動	内 容	発行回数等	
要 覧 (平成28年度)	総合教育センター事業計画、内容、事務分掌、施設、設備等の概要	年1回発行 28年5月	部数 1,100部
所 報 (平成27年度)	平成27年度の総合教育センター事業等の実績	年1回発行 28年5月	部数 1,100部
とちぎ教育のしおり (平成28年度)	県教育行政の組織・予算・決算の状況、児童・生徒数及び教員構成、社会教育施設の状況等	年1回発行 28年10月	部数 9,000部
教育行政資料要覧 (平成28年度)	県教育行政全般にわたる基礎的統計資料及び各種資料	年1回発行 29年3月	部数 50部 CD 100枚
栃 木 県 の 教 育 (平成27年度)	平成27年度の県教育行政施策の実績等	年1回発行 28年11月	部数 920部
総合教育センターだより 「学 び の 杜 通 信」	総合教育センターの各種事業・資料の紹介、募集、報告等の定期的メール配信	年10回配信	配信 661箇所

(8) 研究・学習活動支援事業

教育研究団体が当面している教育に対する諸問題の研究や生涯学習関係団体の学習活動について、その推進が図られるよう支援協力した。

ア 教育関係団体等への会場提供

番号	種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	小学校教育研究会														
2	中学校教育研究会					1				1		1			3
3	高等学校教育研究会			2	3				1	3	1	1	1		12
4	生涯学習団体		3	2	3	1	2	3	2	3	1	3	2	1	26
5	その他の		23	30	27	22	18	28	25	19	22	16	24	26	280
計			26	34	33	23	21	31	28	26	24	21	27	27	321

イ 要請に基づく講師派遣（派遣件数）

番号	種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	幼稚園			1	3	4	2	3	3	1	1	1	1	1	21
2	保育所			3	1	2		1	4			1			12
3	こども園		1		2		3		1	2			1		10
4	小学校		14	1	16	19	15	7	6	9	4	8	6		105
5	中学校			11	17	3	5	3	3	4	7		1		54
6	高等学校		7	6	8	6	4	5	4	8	3	2		5	58
7	特別支援学校		1		1		4	1							7
8	本県の各部局		21	31	29	36	25	12	33	21	14	16	13	7	258
9	本県以外の都道府県						1				1				2
10	県内市町		1	5	13	9	4	3	3	7	2		7	4	58
11	生涯学習関係団体			3	7	3	3	4	2	1	2		1		26
12	小学校教育研究会				1	3	4		2	3					13
13	中学校教育研究会						2	1	1	2	3				9
14	高等学校教育研究会		2	11	9	8	6	3	4	8	7	3	4		65
15	その他の		2	3	8	11	6	3	4	8	2	6	2		55
計			49	75	115	104	84	46	70	74	46	37	36	17	753

※1～11：要請による訪問等

12～14：教育研究団体主催の各教科等に関する研究会のための訪問等

[内訳]

① 生涯学習部

番号	種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	幼稚園														
2	保育所														
3	こども園														
4	小学校					1			1						2
5	中学校														
6	高等学校		1	1					2						4
7	特別支援学校														
8	本県の各部局		10	7	14	15	9	6	12	7	7	5	6	1	99
9	本県以外の都道府県										1				1
10	県内市町													1	1
11	生涯学習関係団体			2	4	2	2	4	2	1	1				18
12	小学校教育研究会														
13	中学校教育研究会														
14	高等学校教育研究会														
15	その他の		2	2	5	3	1	1	1	1	1				17
計			13	12	23	20	13	11	18	9	10	5	6	2	142

※1～11：要請による訪問等

12～14：教育研究団体主催の各教科等に関する研究会のための訪問等

② 研修部

番号	種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	幼稚園														
2	保育所														
3	こども園														
4	小学校		9		7	5	1	2	1	5	2	6			38
5	中学校			4	8			1	2	1	4		1		21
6	高等学校		3	1	3					2	1	1		5	16
7	特別支援学校						3								3
8	本県の各部局		2	8	2	10	7	3	6	4	2	1	1	1	47
9	本県以外の都道府県														
10	県内市町				3			1		2					6
11	生涯学習関係団体														
12	小学校教育研究会				1					2					3
13	中学校教育研究会									1					1
14	高等学校教育研究会		2	7	6	4	5	2	2	2	7	3	3		43
15	その他			1	1	3	1	1	1	2		2	1		13
計			16	21	31	22	17	10	12	21	16	13	6	6	191

※1～11：要請による訪問等

12～14：教育研究団体主催の各教科等に関する研究会のための訪問等

③ 研究調査部

番号	種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	幼稚園														
2	保育所														
3	こども園														
4	小学校		4	1	7	7	3	2	2	1	2	1	6		36
5	中学校			7	8	2	2		1	3	3				26
6	高等学校				2	1		1	1	2	2	1			10
7	特別支援学校						1								1
8	本県の各部局			1	1		1		1	1		1			6
9	本県以外の都道府県						1								1
10	県内市町		1	2	7	7	1	2	1	3	1		2		27
11	生涯学習関係団体			1	2	1	1				1		1		7
12	小学校教育研究会					2	4		2	1					9
13	中学校教育研究会						2	1	1	1	3				8
14	高等学校教育研究会			2	1	1	1			2					7
15	その他				1	1	2			1		1	1		7
計			5	14	29	22	19	6	9	15	12	4	10		145

※1～11：要請による訪問等

12～14：教育研究団体主催の各教科等に関する研究会のための訪問等

④ 教育相談部

番号	種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	幼稚園														
2	保育所														
3	こども園														
4	小学校				1	7	9	3		3		1			24
5	中学校				1	1	3	2							7
6	高等学校		3	4	3	5	4	4	1	4					28
7	特別支援学校		1												1
8	本県の各部局		9	15	11	10	8	3	14	9	5	9	5	5	103
9	本県以外の都道府県														
10	県内市町						2						1		3
11	生涯学習関係団体														
12	小学校教育研究会					1									1
13	中学校教育研究会														
14	高等学校教育研究会			2	2	3		1	2	4			1		15
15	その他				1	4	1	1	2	4		3			16
計			13	21	19	31	27	14	19	24	5	13	7	5	198

※1～11：要請による訪問等

12～14：教育研究団体主催の各教科等に関する研究会のための訪問等

⑤ 幼児教育部

番号	種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	幼稚園			1	3	4	2	3	3	1	1	1	1	1	21
2	保育所			3	1	2		1	4			1			12
3	こども園		1		2		3		1	2			1		10
4	小学校		1		1		1		2						5
5	中学校														
6	高等学校														
7	特別支援学校				1			1							2
8	本県の各部局				1	1							1		3
9	本県以外の都道府県														
10	県内市町			3	3	2	1		2	2	1		4	3	21
11	生涯学習関係団体				1										1
12	小学校教育研究会														
13	中学校教育研究会														
14	高等学校教育研究会														
15	その他						1				1				2
計			2	7	13	9	8	5	12	5	3	2	7	4	77

※1～11：要請による訪問等

12～14：教育研究団体主催の各教科等に関する研究会のための訪問等

(9) 教育充実振興事業

教職員の資質の向上、児童生徒の研究意欲の高揚及び生涯学習の振興に資するため、各種の事業を実施した。

ア 教養講座

番号	講座名	内 容	期 日	講 師	演 題	参加人数	会 場
1	公開講座 「ライフ アップセ ミナー」 (再掲)	総合教育センターが主催する研修の中から、県民の学習活動として活用できる部分を広く一般に公開し、幅広い学習機会を提供した。	6/1) 2/17 16回	・子どもたちを取り巻く現代の課題 ・人権が尊重された社会をつくるために ・地域づくりとボランティア活動 ・これからの社会教育行政のあり方 ・地域の大人に期待される役割 等		100人	総合教育センター
2	公開講座 「学びの 杜の夏休 み」 (再掲)	県民の方々の多様な学びを支援するため、センターの施設・設備を生かした講座を実施した。	7/30	・親と子の読書感想文書き方教室 ・タマネギの皮で草木染めをしよう ・だがしや楽校 ・プログラムでロボットを動かそう ・勾玉（まがたま）を作ろう ・サイエンスらいおんカフェ「親子でEnjoy☆スイカ祭り♪」 ・電波教室 ・宇宙に果てはあるのか？ ・PPバンドを使って小物を作ろう		224人	総合教育センター
3	教育相談 特別講座	子ども達の学校生活の充実を目指し、特に子ども同士の関係づくりを通して育てる「やる気」について考える機会を提供した。	8/12	上越教育大学教職大学院 教授 赤坂 真二 上越教育大学教職大学院 教授 赤坂 真二 宇都宮市立岡本北小学校 教諭 竹之内 孝二 佐野市立城東中学校 教諭 永井 真喜 栃木県立小山北桜高等学校 教諭 半田 智美	講演 「子どもたちを『やる気』にさせる」 シンポジウム 「子ども同士の関係づくりを支えるために」	258人	総合教育センター

イ 展覧会・発表会・コンクール

番号	事業名	期 日	対 象	出品・発表点数	参加人数	会 場
1	第66回全国小・中学校 作文コンクール 栃木県地方コンクール	審 査 9月21日 表彰式 11月16日	小学校 中学校	小学校 738点 中学校 79点	817人	総合教育センター
2	第60回日本学生科学賞 栃 木 県 展 覧 会	審 査 10月6日 展 示 10月7日～23日 表彰式 10月24日	中学校 高等学校	中学校 5点 高等学校 20点	110人	総合教育センター
3	第66回栃木県児童生徒 発 明 工 夫 展 覧 会	審 査 10月19日 展 示 10月21日～23日 表彰式 11月18日	小学校 中学校 高等学校	213点	193人	栃木県子ども総合科学館 総合教育センター

番号	事業名	期 日	対 象	出品・発表点数	参加人数	会 場
4	第70回栃木県理科研究 展覧会及び発表会	地区展 1月13日～23日 中央展 2月2日～16日 審 査 2月3、16日 展 示 2月4、5日 表彰式 2月16日	小学校 中学校 高等学校 特別支援 学校	地区展 3,667点 中央展 98点	地区展 約18,000人 中央展 約400人	各地区会場 子ども総合 科学館 総合教育セ ンター
5	第29回栃木県自作 視聴覚教材コンクール (再掲)	予備審査 1月20日 本審査 2月3日 表彰式 2月24日	県民一般	社会教育部門 9点 学校教育部門 1点	10人	総合教育 センター

ウ 開放事業

名 称	期日	対 象	内 容 等	参加人数
総合教育センター 開放事業 『学びの杜の冬休み～ ふれる・つくる・考 える～』 (再掲)	12/17	子どもと親をはじめ とする県民	子どもの遊び（学習）活動の支援や、保護者 をはじめ大人の教育力の向上を目的として『ふ れる、つくる、考える』の3つのジャンルの25 の活動プログラムを実施した。	703人

エ 教育研究発表大会

名 称	期日	対 象	内 容 等	参加人数
平成28年度栃木県教育 研究発表大会	1/27 1/28	小・中・県立学校教員 大学生、一般県民	県内各教育機関における学校教育及び生涯学 習に関する実践研究の成果を広く公開し、そ の理解と普及を図り、本県教育の充実・向上 と生涯学習の振興に努めた。	1,013人

(10) 内地留学生研修実施状況

ア 内地留学生

前 期 4月1日～9月30日 5人			
領 域	氏 名	勤 務 校	研 究 テ ー マ
教育近代化 (生涯学習)	今井 裕一	那須町立黒田原中学校	学校や地域の実態に応じた地域連携の在り方 －那須町における実践を視野に入れて－
特別支援教育	會澤 和裕	県立国分寺特別支援学校	知的障害のある生徒に対する情報モラルの効果的な指導法
児童・生徒指導	江口 陽子	鹿沼市立菊沢西小学校	子ども一人一人の安心感を高めるための指導・支援の在り方
児童・生徒指導	神田 智行	茂木町立中川小学校	学級担任による児童への適切な指導の在り方 －学業指導の充実と気になる児童への早期対応を通して－
特別支援教育	眞尾 恵子	足利市立梁田小学校	子どもが自発的に学ぶためのかかわり －A児へのひらがなの読みの支援を通して－

後 期 10月1日～3月31日 5人			
領 域	氏 名	勤 務 校	研 究 テ ー マ
理科	菅生 崇夫	宇都宮市立鬼怒中学校	中学校理科における生徒の学力向上の取組 －ユニバーサルデザインの視点によるアプローチ－
児童・生徒指導	坂本 香利	宇都宮市立桜小学校	児童一人一人の自尊感情を育むために －認め合う活動を通して－
児童・生徒指導	大塚 亮太	小山市立小山城東小学校	小学校におけるチーム支援の在り方 －児童指導体制の充実を目指して－
特別支援教育	鈴木テツオ	上三川町立明治小学校	子どもが主体的に活動に取り組めるための支援の在り方 －言語障害のある子どもとのかかわりの中で－
児童・生徒指導	中村 亜衣	日光市立南原小学校	子どもとの信頼関係の形成を目指したかかわり －子どもの言動を多面的に捉えるために－

イ 内地留学生研修内容

期 日		研 修 内 容	備 考
前期	後期		
4月4日 4月2日 }	10月3日 10月1日 }	開講式 オリエンテーション 共通研修 教員としての資質を高める研修 一般研修 各教科・各領域の必要な内容の研修	内地留学生全員 一斉に全員 各教科・領域ごとに全員
4月15日	10月14日		
4月18日 }	10月17日 }	専門研修 研究テーマに即した内容の研修	各教科・領域ごとに全員
9月30日	3月31日		
9月9日	3月9日	内地留学成果発表会	内地留学生全員
9月21日	3月22日	閉講式	内地留学生全員

(11) 加盟機関としての事業活動

名 称	期 日	活 動 内 容	備 考
栃木県教育研究所 連絡協議会	5/11	総会・第1回常任委員会 ・平成27年度事業報告・収支決算報告について ・平成28年度予算案・事業計画案について	加盟機関数：11 会長： 栃木県総合教育センター 所長 軽部 幸治
	10/19	第2回常任委員会 ・平成28年度栃木県教育研究発表大会について ・平成28年度栃教研連会報の発行について ・平成29年度栃教研連総会・常任委員会の期日について	

4 職員等一覧

平成29年3月31日現在

部	職 名	氏 名	部	職 名	氏 名	
所 次	長	軽 部 幸 治	研 究 調 査 部	部 長	杉 保 男	
	長	秋 間 将 行		部 長 補 佐	菊 地 高 夫	
総 務 部 11名	部 長 (兼)	秋 間 将 行		副 主 幹	三 澤 雅 子	
	部 長 補 佐 (総 括)	塩 原 千 恵 子		〃	岩 瀬 英 二 郎	
	主 幹 (企 画 調 整 担 当)	星 尚 志		指 導 主 事	山 口 昌 子	
	副 主 幹 (〃)	小 栗 克 樹		〃	岩 本 善 行	
	指 導 主 事 (〃)	大 高 裕 一		〃	五 月 女 穰	
	主 査	木 舟 克 己		〃	中 條 康 雄	
	〃	渡 辺 典 子		〃	水 井 ゆ かり	
	〃	岩 崎 純 子		〃	和 田 安 史	
	主 事	大 島 佳 央 莉		〃	関 口 健 太 郎	
	主 任 技 能 技 術 員	腰 塚 政 美		〃	大 山 晃	
	臨 時 補 助 員	伊 藤 さ と み		〃	梶 谷 隆 雄	
生 涯 学 習 部 12名	部 長	大 金 浩		16名 教 育 相 談 部 11名 幼 児 教 育 部 8名 教 育 経 営 研 究 室 6名	係 長	三 津 間 裕 治
	部 長 補 佐	鈴 木 修			主 査	永 畑 由 美
	副 主 幹	添 谷 元 良			臨 時 補 助 員	岡 賢 太 郎
	〃	和 田 淳 子	部 長		和 氣 由 美 子	
	〃	高 德 晃	副 主 幹		小 島 圭 子	
	〃	尾 島 敏 裕	〃		日 向 野 晃	
	社 会 教 育 主 事	伊 東 宏 隆	〃		増 渕 直 樹	
研 修 部 17名	〃	白 井 淳 子	〃		佐 山 功	
	教 育 研 修 研 究 調 査 員	関 卓 司	指 導 主 事		細 井 三 知 代	
	〃	大 谷 仁	〃		石 川 裕 美	
	生 涯 学 習 相 談 員	蓮 見 徹	〃		人 首 健 一	
	〃	大 関 馨	〃		吉 村 俊 介	
	部 長	水 沼 隆	〃		飯 村 伸 子	
	副 主 幹	柳 田 昌 臣	教 育 研 修 研 究 調 査 員		五 月 女 勉	
	〃	金 敷 美 由 紀	部 長		森 田 浩 子	
	〃	谷 中 政 昭	副 主 幹		高 木 恵 美	
	〃	北 條 諭	指 導 主 事	前 原 由 紀		
	〃	鈴 木 秀 子	〃	黒 川 貴 広		
	〃	野 澤 裕 治	幼 児 教 育 セ ン タ ー 顧 問	神 長 美 津 子		
	〃	小 栗 和 彦	幼 児 教 育 専 門 員	吉 田 カ ヨ		
	〃	小 川 賢 一	〃	栗 田 英 子		
	指 導 主 事	宮 田 勇	臨 時 補 助 員	河 原 加 代		
	部 17名	〃	今 井 和 彦	教 育 研 修 専 門 員	寺 内 孝 夫	
		〃	渡 邊 留 美 子	〃	林 信 夫	
〃		塩 野 友 佳	〃	橋 本 和 英		
〃		庄 司 由 夏	〃	大 豆 生 田 將		
〃		興 野 寛 久	〃	大 塚 千 枝 子		
〃		板 橋 美 季	〃	中 村 伸		
〃		谷 仲 俊 彦				
現在数 82名						

5 施設の利用状況

月 別 利用区分				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計		
研修等による利用				件数	29	49	61	60	44	48	44	39	20	32	17	2	445	
				人数	1,519	2,968	3,458	3,046	3,049	2,004	2,443	2,435	1,553	2,860	1,287	239	26,861	
貸 会 場	県関係機関の利用			件数	14	28	24	33	22	29	35	26	18	21	20	19	289	
				人数	1,284	2,623	2,186	5,734	4,514	2,993	2,992	2,467	2,044	2,869	2,466	1,790	33,962	
	教育関係・ 一般県民の利用	月曜日 ＼ 金曜日	昼間	件数	11	9	13	6	5	7	6	9	9	9	8	7	99	
				人数	650	340	911	465	475	254	241	555	220	430	245	120	4,906	
		夜間	件数	7	9	9	11	8	10	8	10	11	8	9	9	109		
			人数	100	136	141	216	156	211	126	176	196	136	166	126	1,886		
		土 曜 日	件数	6	9	6	2	5	8	8	4	3	3	4	10	68		
			人数	305	440	131	85	165	270	310	120	320	79	110	460	2,795		
		日 曜 日	件数	2	7	5	6	3	7	6	4	1	1	6	5	53		
			人数	40	360	270	850	55	1,450	400	606	350	20	450	340	5,191		
		計	件数	26	34	33	25	21	32	28	27	24	21	27	31	329		
			人数	1,095	1,276	1,453	1,616	851	2,185	1,077	1,457	1,086	665	971	1,046	14,778		
	小 計			件数	40	62	57	58	43	61	63	53	42	42	47	50	618	
				人数	2,379	3,899	3,639	7,350	5,365	5,178	4,069	3,924	3,130	3,534	3,437	2,836	48,740	
	来 所 相 談	一般教育相談			件数	4	11	8	7	7	10	11	12	7	12	8	6	103
					人数	6	15	14	13	12	16	20	21	12	23	14	10	176
障害児教育相談			件数	9	14	17	16	15	15	18	24	16	15	21	23	203		
			人数	18	30	36	36	31	35	40	53	38	36	47	51	451		
図 書 資 料 室				人数	223	311	370	418	497	264	308	234	212	210	177	231	3,455	
学習情報センター				人数	68	138	80	92	92	113	95	95	173	89	106	111	1,252	
カリキュラムセンター				人数	34	21	47	21	3	10	18	1	12	26	1	37	231	
視 察 ・ 見 学				件数	0	1	2	0	1	0	1	2	0	0	1	1	9	
				人数	0	1	4	0	7	0	2	3	0	0	3	4	24	
合 計				件数	82	137	145	141	110	134	137	130	85	101	94	82	1,378	
				人数	4,247	7,383	7,648	10,976	9,056	7,620	6,995	6,766	5,130	6,778	5,072	3,519	81,190	

6 講師一覧

所 属 等	氏 名	講 話 の テ ー マ	研 修 事 業 名	研修日
宇都宮大学教育学部 附属幼稚園	岩渕千鶴子	幼児期の健康管理と安全管理	新規採用幼稚園教諭研修	4月5日
文部科学省初等中等教育局	今井 裕一	高大接続システム改革の背景と今後の流れについて	校長研修（高・特）	5月10日
宇都宮大学地域連携教育 研 究 セ ン タ ー	佐々木英和	生涯学習や社会教育について考える	生涯学習・社会教育関係 職員研修Ⅰ	5月12日
文部科学省初等中等教育局	西川さやか	「主体的に考え表現できる子ども」 を育てるために	校長研修（小・中）	5月12日
宇 都 宮 大 学 教 育 学 部 附 属 中 学 校	星野めぐみ	教科指導	新任免許教科担任研修 （中学校） 技術・家庭科（家庭分野）	5月20日 6月7日
宇 都 宮 共 和 大 学	牧野カツコ	今、なぜ家庭教育支援が必要なのか	家庭教育支援プログラム 指導者研修～親学習プログラムコース～	6月1日
千 葉 大 学	砂上 史子	協議主題解説	教育課程研究集会（幼児 教育）	6月8日
栃 木 県 連 合 教 育 会	柴 一彌	教員のためのメンタルヘルス	初任者研修（高・特）	6月9日
小 山 市 教 育 委 員 会 生 涯 学 習 課	櫻木 万弓	集会所における事業の推進と課題	人権教育指導者専門研修	6月10日
宇 都 宮 大 学	橘川 眞彦	人権教育の視点	人権教育指導者専門研修	6月10日
さくら・ら心療内科	加藤 和子	教職員のメンタルヘルス	教頭2年目研修（高・特）	6月10日
株 式 会 社 エ ス ・ ピ ー ・ ネ ッ ト ワ ー ク	西尾 晋	学校運営における危機管理推進の ポイント	教頭2年目研修（高・特）	6月10日
三 重 大 学	瀬戸美奈子	コーディネートの方の考え方・進 め方	支援体制充実研修	6月10日
教 員 研 修 セ ン タ ー	磯 宜男	コーチングを活用した人材育成	教頭2年目研修（小・中）	6月13日
文部科学省初等中等教育局	廣田 貢	これからの学校と地域の連携・協 働の姿～地域みんなで子供たちの 未来を考える～	新任地域連携教員研修	6月17日
独立行政法人日本スポーツ 振 興 セ ン タ ー	星野 恵子	災害共済給付状況を活用した学校 事故防止	養護教諭研2年目研修	6月21日
独立行政法人日本スポーツ 振 興 セ ン タ ー	小林 正尚	災害共済給付状況を活用した学校 事故防止	養護教諭研2年目研修	6月21日
ス ピ ー チ ・ デ ィ ベ ー ト 研 究 所	井上 敏之	高度な言語活動を実践するための 段階的な指導法	教室英語ディベート研修 （高）	6月22日
部 落 解 放 愛 する 会 栃 木 県 連 合 会	松下 正行	同和問題を考える	人権教育指導者専門研修	6月28日
部 落 解 放 愛 する 会 栃 木 県 連 合 会	山根 吉雄	同和問題を考える	人権教育指導者専門研修	6月28日
宇 都 宮 市 ま ち づ くり セ ン タ ー ま ち び あ	小倉 克洋	子どもと楽しむ活動プログラム	放課後活動指導者研修	6月29日
栃 木 県 レ ク リ エ ー シ ョ ン 協 会	安納 慶太 軽部 秀雄	子どもと楽しむ活動プログラム	放課後活動指導者研修	6月29日
跡 見 学 園 女 子 大 学	伊澤 成男	教職員のメンタルヘルス	教職20年目研修（高・特）	6月30日
宇 都 宮 共 和 大 学	土沢 薫	教職員のメンタルヘルス	教職20年目研修（小・中）	7月1日
宇 都 宮 大 学 基 盤 教 育 セ ン タ ー	竹井 沙織	若者には地域を変える力がある	ウィークエンド青少年セ ミナー	7月2日

所 属 等	氏 名	講 話 の テ ー マ	研 修 事 業 名	研修日
エンジェルズアイズ	遠藤 美季	子どもの生活リズムを考えよう	家庭教育支援プログラム指導者研修～親学習プログラムコース～	7月4日
栃 木 県 連 合 教 育 会	大網 信祥	学校組織マネジメントを生かした学校経営の理解	新任補佐級事務長研修	7月4日
栃 木 県 臨 床 心 理 士 会	伊藤 幸子	事務職員のためのメンタルヘルス	新任補佐級事務長研修 新任係長級事務長研修	7月4日
さくら・ら心療内科	加藤 征樹	教職員に対するメンタルヘルス	養護教諭10年目研修	7月4日
栃木県カウンセリング協会	丸山 隆	教員のためのメンタルヘルス	初任者研修（小・中）	7月5日
栃木県カウンセリング協会	丸山 隆	教員のためのメンタルヘルス	初任者研修（小・中）	7月7日
部落解放同盟栃木県連合会	戸田 眞	同和問題を考える	人権教育指導者専門研修	7月7日
昭 和 女 子 大 学	興梠 寛	学校を核として地域ぐるみで子どもを育む～今、求められる地域の教育力～	学校支援ボランティア活動推進セミナー	7月8日
宇 都 宮 大 学 基 盤 教 育 セ ン タ ー	桑島英理佳	自分を見つめてみよう	ウィークエンド青少年セミナー	7月9日
栃木県子ども総合科学館	室岡 久男	手軽に楽しめる工作遊び	ウィークエンド青少年セミナー	7月9日
宇 都 宮 大 学	松本 敏	校内研修の活性化に向けて～同僚性を高める授業研究会の在り方～	校内研修ステップアップ講座	7月12日
作 新 学 院 大 学 女 子 短 期 大 学 部	青木 章彦	新しい環境教育の展開	環境学習プログラム研修	7月12日
県南圏域障害者就業・生活支援センター「めーぷる」	栗野 尚子	就労支援の実際	職業教育指導力向上研修	7月12日
元関東学院中学・高等学校	橋本 幸晴	カウンセリング基礎演習	教育相談基礎研修	7月12日
栃 木 県 警 察 本 部	岩崎 泉	もしもの時も落ち着いて～不審者から子どもを守る～	放課後活動指導者研修	7月13日
東 京 成 徳 短 期 大 学	安見 克夫	園の組織的マネジメント	幼稚園教職10年経験者研修	7月14日
宇 都 宮 大 学	司城紀代美	子どもの側から見える景色とは	幼児期の特別支援教育研修	7月15日
宇 都 宮 大 学 基 盤 教 育 セ ン タ ー	若園雄志郎	自分たちも何かやってみよう！	ウィークエンド青少年セミナー	7月16日 7月23日 7月30日
とちぎグッドメンタル&キャリア	坂寄 和弘	教員のためのメンタルヘルス	教職10年目研修（高・特）	7月25日
みとカウンセリングルーム ど ん ぐ り	人見健太郎	生徒理解～思春期・青年期の特徴をふまえて～	教職10年目研修（高・特）	7月25日
白 鷗 大 学	結城 史隆	地域活動を充実させるために～今、地域活動が求められる理由～	女性の地域活動推進セミナー（女性教育指導者研修）	7月26日
宇 都 宮 大 学	和唐 正勝	健康の保持増進と健康教育	養護教諭10年目研修 新任栄養教諭研修	7月27日
栃 木 県 薬 剤 師 会	君島 正	学校環境・衛生活動における諸検査	新規採用養護教諭研修	7月28日
真 尾 歯 科 医 院	真尾 達哉	児童生徒の注意すべき疾病異常の管理と指導－歯科－	新規採用養護教諭研修	7月28日
べんてる株式会社	大塚 義孝	造形活動の理論と実際・描画材料編	図工、美術専門研修	7月28日
群 馬 大 学	中村 保和	知的障害のある子どもの教科指導と授業づくり～ことば・文字の学習～	特別支援学級等新任教員研修 知的障害教育研修	7月28日

所 属 等	氏 名	講 話 の テ ー マ	研 修 事 業 名	研修日
宇 都 宮 少 年 鑑 別 所	久保 勉	非行の理解と対応	教育相談基礎研修	7月28日
宇 都 宮 大 学	小原 伸一	音楽を聴き深める力を育てる鑑賞指導の工夫	音楽専門研修	7月29日
株式会社サクラクレパス	高橋 修	造形活動の理論と実際・描画材料編	図工、美術専門研修	7月29日
早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター	杉山 正明	保健学習の目指すこととは	養護教諭専門研修	7月29日
兵庫教育大学大学院	浅野 良一	学校における組織マネジメント	新任教頭研修（小・中）（高・特）	8月5日
株式会社HRインスティテュート	三坂 健	課題解決の方策を探るための論理的思考法	ネクストステージ研修	8月8日
とちぎグッドメンタル&キヤリア	坂寄 和弘	教員のためのメンタルヘルス	教職10年目研修（小・中）	8月8日
國 學 院 大 学	神長美津子	子育てを取り巻く現状と課題、保育所における効果的な実習に向けて	産業教育専門研修〔家庭科〕、家庭、家庭分野専門研修	8月9日
栃 木 県 連 合 教 育 会	大網 信祥	学校経営と学校事務	教頭2年目研修（小・中）	8月9日
杏 林 大 学	古賀 良彦	教職員のメンタルヘルス	教頭2年目研修（小・中）	8月9日
慶 応 大 学 S F C 研 究 所	渡辺真由子	ネットいじめの現状と課題～情報モラル教育の充実を目指して～	人権教育指導者専門研修	8月10日
宇 都 宮 共 和 大 学	土沢 薫	子どものこころを支える健康相談と連携の在り方	養護教諭10年目研修	8月10日
宇 都 宮 大 学	牧野 智彦	算数科・数学科の指導における小・中学校の関連	算数専門研修 数学専門研修（中）	8月10日
白 鷗 大 学	中山 和彦	道徳の時間の指導の現状と課題 道徳の時間の授業づくり	道徳専門研修	8月12日
株式会社スマイルブーム	徳留 和人	『D情報に関する技術』の現状と課題、今後の方向性について	技術分野専門研修	8月12日
上越教育大学教職大学院	赤坂 真二	子どもたちを「やる気」にさせる	教育相談特別講座	8月12日
国 立 特 別 支 援 教 育 総 合 研 究 所	牧野 泰美	人間関係の形成・コミュニケーションの指導	自立活動研修	8月22日
東 京 大 学	高橋 嘉夫	原子レベルから地球環境をみる～高等学校理科でどのように伝えるか～	理科専門研修Ⅱ～高等学校の「物理」「化学」「生物」の指導法～	8月22日
株式会社DNAチップ研究所	石澤 洋平	生物分野の実験の指導法	理科専門研修Ⅱ～高等学校の「物理」「化学」「生物」の指導法～	8月22日
株式会社HRインスティテュート	三坂 健	人材育成	新任教頭研修（小・中）（高・特）	8月23日
栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会	伊吹 桂子	家庭教育オピニオンリーダーの活動	家庭教育オピニオンリーダー研修	8月25日
栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会真岡支部	馬場 滋子	先輩オピニオンリーダーに聞く	家庭教育オピニオンリーダー研修	8月25日
栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会西那須野支部	菊地 由美	先輩オピニオンリーダーに聞く	家庭教育オピニオンリーダー研修	8月25日
埼玉県立浦和第一女子高等学校	白石 紳一	魅力ある数学科授業の創造～知識構成型ジグソー法～	数学専門研修（高）	8月25日

所 属 等	氏 名	講 話 の テ ー マ	研 修 事 業 名	研修日
桜 の 聖 母 短 期 大 学	西内みなみ	思春期の子どもの課題と保護者の対応	家庭教育支援プログラム指導者研修～思春期版家庭教育支援プログラムコース～	9月2日
NPO法人生涯発達研究所	若林 享子	ちょっと気になる子どもへの対応～発達障害への理解と支援の仕方～	放課後活動指導者研修	9月5日
国 際 医 療 福 祉 大 学	小淵 千絵	子どもの言語習得	通級による指導研修	9月5日
東 京 学 芸 大 学	小林 正幸	不登校の理解と対応	教育相談課題研修〔不登校の理解と対応〕	9月6日
明 治 大 学	三橋 順子	人権が尊重された社会をつくるために～性別違和と人権～	人権教育指導者専門研修	9月13日
川口短期大学こども学科	加藤 邦子	子育て家庭の現状と課題	家庭教育オピニオンリーダー研修	9月14日
玉 川 大 学	松本 修	言語活動における語彙指導の可能性	国語専門研修	9月23日
宇 都 宮 大 学	司城紀代美	発達障害のある児童生徒の理解と対応～通常の学級における実践～	発達障害のある子どもの教育支援研修	9月23日
栃木県女性教育推進連絡協議会宇都宮支部	村田 文子	実践事例から学ぶ地域活動の実践	女性の地域活動推進セミナー（女性教育指導者研修）	9月29日
栃木県女性教育推進連絡協議会鹿沼支部	小杉 志津	実践事例から学ぶ地域活動の実践	女性の地域活動推進セミナー（女性教育指導者研修）	9月29日
アサヒクッキングスクール	吉野ひろみ	調理技術の向上、家庭と連携した食育の推進	新規採用学校栄養職員研修 学校栄養職員10年目研修	9月29日
NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク	栗林知絵子	子どもたちを取り巻く現代の課題	家庭教育オピニオンリーダー研修	10月3日
放 送 大 学	小林真理子	子どもの理解～心の発達の視点から～	教育相談基礎研修	10月4日
宇 都 宮 大 学	松本 敏	ミドルリーダーに求められるもの	ネクストステージ研修	10月4日
乙女小放課後子どもプラン運営委員会	海老沼芳男	地域がつくる豊かな放課後活動	放課後活動指導者研修	10月12日
宇 都 宮 大 学	陣内 雄次	地域がつくる豊かな放課後活動	放課後活動指導者研修	10月12日
N P O 法 人 まちと学校のみらい	竹原 和泉	コーディネート機能の充実に向けて	新任地域連携教員研修	10月17日
文 京 区 立 第 一 幼 稚 園	桶田ゆかり	専門性を高めるための記録の在り方	スキルアップセミナーⅠ	10月18日
神 田 外 語 大 学	嶋崎 政男	いじめの理解と対応	教育相談課題研修〔いじめの理解と対応〕	10月21日
東 京 学 芸 大 学 附 属 小 金 井 小 学 校	中山美由紀	これからの学校図書館の在り方	学校図書館研修	10月24日
NPO法人傾聴ボランティア “ありのまま”グループ	黒川 貢	カウンセリングマインドを生かした相談の在り方	家庭教育オピニオンリーダー研修	10月28日
上 智 大 学	奈須 正裕	学力向上を支える幼児教育と生活科・総合的な学習の時間	トップセミナー	11月10日
NPO法人かぬま市民活動サポーターズ	青田 賢之	地域づくりとボランティア活動	女性の地域活動推進セミナー（女性教育指導者研修）	11月14日
千 葉 大 学	星 幸広	学校現場の危機管理	新任教頭研修（小・中） （高・特）	11月15日

所 属 等	氏 名	講 話 の テ ー マ	研 修 事 業 名	研修日
小 野 整 形 外 科 医 院	小野 誠	児童生徒の注意すべき疾病異常の 管理と指導－整形外科－	新規採用養護教諭研修 養護教諭10年目研修	12月1日
栃 木 県 女 性 教 育 推 進 連 絡 協 議 会	川津美智子	女性教育推進連絡協議会について ～女性団体活動の実際～	女性の地域活動推進セミ ナー（女性教育指導者研 修）	12月2日
大 阪 府 立 大 学	中川 智皓	即興型英語ディベートの実際と指 導のポイント	教室英語ディベート研修 (高)	12月7日
国 士 館 大 学	北神 正行	管理職としてのリーダーシップ	教頭2年目研修（小・中）、 教頭2年目研修（高・特）	12月12日
株 式 会 社 ス キ ャ ッ ト	山田 義治	10年目の教職員に向けて	教職10年目研修（小・中） （高・特）養護教諭10年 目研修 学校栄養職員10 年目研修幼稚園教職10年 経験者研修	1月6日
と ち ぎ ボ ラ ン テ ィ ア N P O セ ン タ ー ほ ぼ ら	黒田 葉子	地域で活躍するリーダーに求めら れるもの	女性の地域活動推進セミ ナー（女性教育指導者研 修）	1月18日
独立行政法人日本スポーツ 振 興 セ ン タ ー	星野 恵子	災害共済給付状況を活用した学校 事故防止	新規採用養護教諭研修	1月19日
独立行政法人日本スポーツ 振 興 セ ン タ ー	廣瀬 杏子	災害共済給付状況を活用した学校 事故防止	新規採用養護教諭研修	1月19日
文部科学省生涯学習政策局	下田 力	これからの社会教育行政のあり方	生涯学習・社会教育関係 職員研修Ⅱ	1月25日
聖 徳 大 学	吉本 恒幸	道德教育の充実と指導体制の確立 に向けて	新任道德教育推進教師等 研修	1月30日
東京教職員研修センター	大竹 節子	要録の意義と役割	スキルアップセミナーⅡ	2月3日
千 葉 敬 愛 短 期 大 学	明石 要一	地域の大人に期待される役割	地域教育コーディネー ター養成セミナー	2月17日

平成28年度

所 報

栃木県総合教育センター

〒320-0002

宇都宮市瓦谷町1070番地

TEL 028-665-7200

FAX 028-665-7217

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/>

とちぎレインボーネット（栃木県学習情報提供システム）

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/information/>

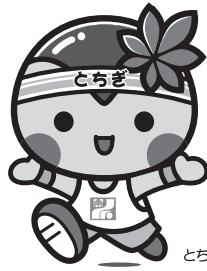
幼児教育センターホームページ

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/youji/>

カリキュラムセンターホームページ

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/curriculum/rss>

がんばろう日本!
元氣をとちぎから。



とちまるくん